

創作作品番号 99番 第2章 思い出す言葉

- ① 創作年月日 1999年 3月 15日創作
② 作詩作曲 作詩 村嶋由紀子 作曲 高平つぐゆき
③ 歌詞 思い出す言葉

かわいそうになあより
がんばっとうなあの方がええやろ
かわいそうになあ がんばっとうなあ

大地が激しく揺れて
僕は瓦礫の下に埋もれてしまった
やがて兄の声がして僕は助けだされた
それからまもなく父が助けだされた
母は、母は何時間たっても出てこなかった
今まで遅くなっても必ず帰ってきた母
だから僕は絶対その帰りを信じていたのに

学校の帰り電車を待っていると
何故か悲しくなる時がある
「何でやねん」と思うことがある
でも父の言葉がそんな僕の支え
「かわいそうになあ」より
「がんばっとうなあ」の方がええやろ？
がんばっとうなあ
がんばっとうなあ

- ④ 公演初演 1999年 9月 12日 神戸文化大ホール
合唱団TERRA第10回定期ファーストコンサート